霧島山（新燃岳）における学識者による現地調査の実施

平成29年11月1日
九州地方整備局

○霧島山（新燃岳）で10月11日05時34分頃噴火が発生し、17日未明噴火休止。
○霧島山周辺の降灰状況を把握するため、九州地方整備局がヘリ及び地上からの現地調査を実施。
○10月21日からの降雨では、最大1時間雨量11mm、累積雨量100 mm（矢岳観測所）を観測したが、土石流は非発生。
○降灰による土砂災害への影響等を確認するため、10月25日に九州地整が学識者（地頭薗教授（鹿児島大学）、清水教授（宮崎大学）等）と共に現地調査を実施。
○調査の結果、現時点の降灰状況では、表面流が連続することはなく、リルの発生につながらないため、少ない雨で人家に被害をもたらすような土石流の発生の恐れはないことが再確認された。

九州地整と学識者による現地調査状況

上空からの降灰状況の確認（九州地整10月23日）

光学衛星による降灰状況の確認（(株)パスコ10月25日提供）